

スマートフォン iPhone応用編



全国版救急受診アプリ(Q助)
を使って病気やけがの
緊急度を判定しよう

目次

1.全国版救急受診アプリ(Q助)を知りましょう

- 1-A 救急車の適時・適切な利用の重要性……………P2
- 1-B 全国版救急受診アプリ(Q助)とは……………P3
- 1-C 救急車の適時・適切な利用に関する参考情報……………P4
- 1-D 全国版救急受診アプリ(Q助)の利用手順……………P5

2. 全国版救急受診アプリ(Q助)利用の準備をしましょう

- 2-A 全国版救急受診アプリ(Q助)のインストール……………P7
- 2-B 利用設定のしかた……………P10

3. 全国版救急受診アプリ(Q助)を利用しましょう

- 3-A 緊急度判定のしかた……………P14
- 3-B 医療機関・受診手段の検索のしかた……………P26
- 3-C 急な症状で迷っている場合……………P32
- 3-D 救急車の呼び方……………P38

1 全国版救急受診アプリ (Q助)を知りましょう

生命に関わる病気やけがは、何の前触れもなく起こることがあります



突然の発症には、早期の通報や救急隊による適切な処置、早期の病院搬送等が、救命につながります



地域の限られた手段である救急車が必要なときにつけられるよう、適時・適切な利用が重要です

全国版救急受診アプリ(Q助)は、急な病気やけがをして、緊急度の判断に迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に作成されています

病院や
クリニックに
行った方が
いいか？

救急車を
呼んだ方が
いいか？

病院に行くなら
急いだほうが
いいのか？
待てるのか？



アプリで
緊急度を
判定できる！



全国版救急受診アプリ(Q助)の紹介や救急についての
情報を調べることができるサイトをご紹介します

全国版救急受診アプリ (愛称「Q助」)

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>



救急安心センター事業 (#7119)をもっと詳しく！

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>



救急お役立ち ポータルサイト

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post3.html>



次ページから、以下の順番で操作のご説明をいたします

2章:Q助の利用準備

2-A 全国版救急受診アプリ(Q助)のインストール

2-B 利用設定のしかた



3章:Q助での緊急度判定

3-A 緊急度判定の実施のしかた

3-B 医療機関・受診手段の検索のしかた

2 全国版救急受診アプリ (Q助)利用の準備を しましょう

全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

① App Store  を
ダブルタップします



② 「検索」をダブルタップします



全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

③ 検索枠に「Q助」と入力します



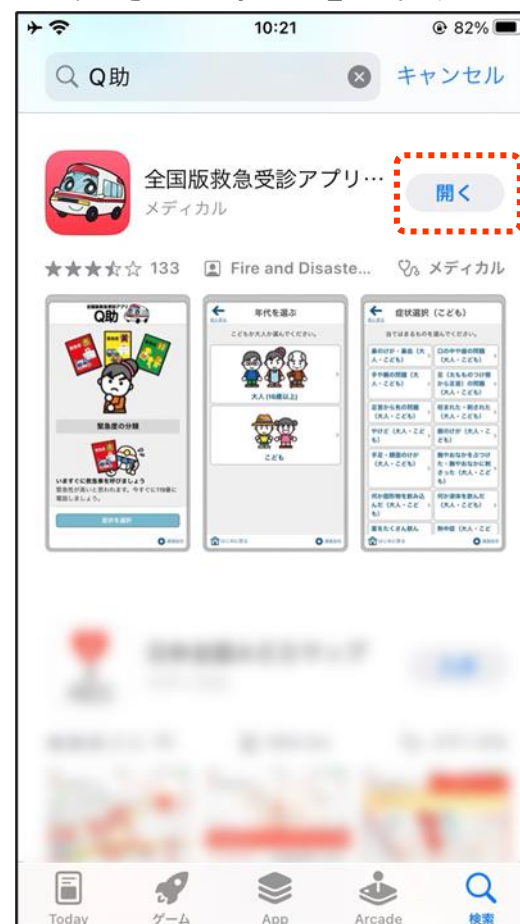
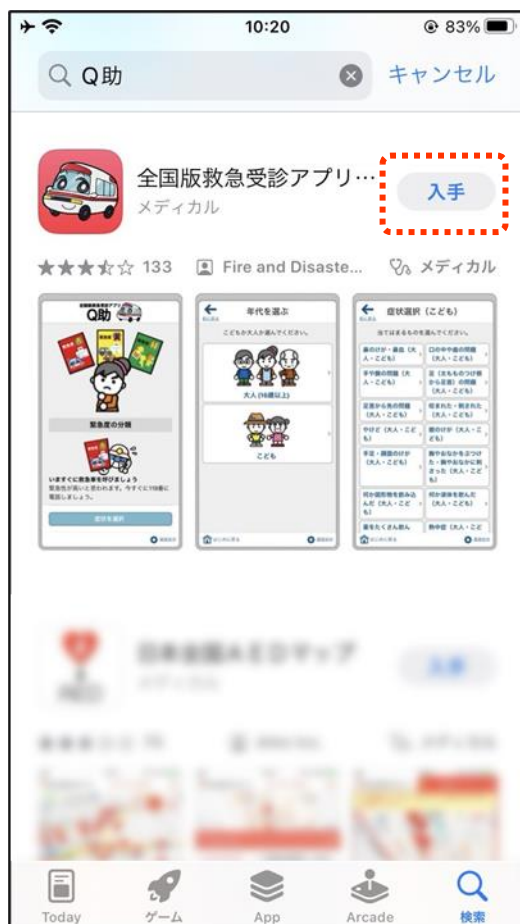
④ 右下の検索ボタンをダブルタップし検索します




全国版救急受診アプリ(Q助)をインストールします

5 「入手」をダブルタップします

6 インストールが完了すると表示が「開く」に変わります



利用設定を行います

- ① ホーム画面からQ助  をダブルタップします



- ② 利用規約を確認して「利用規約に同意する」をダブルタップします



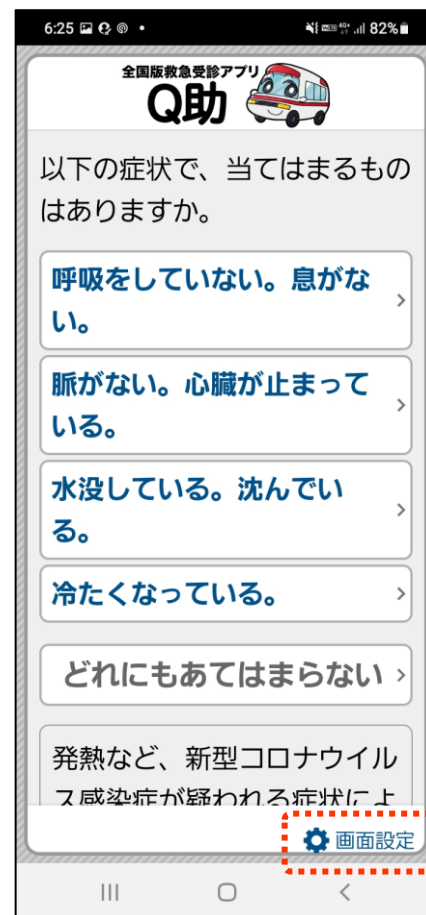
利用設定を行います

③ 画面右下の「画面設定」をダブルタップします

※初回起動時の画面



※2回目以降起動時の画面



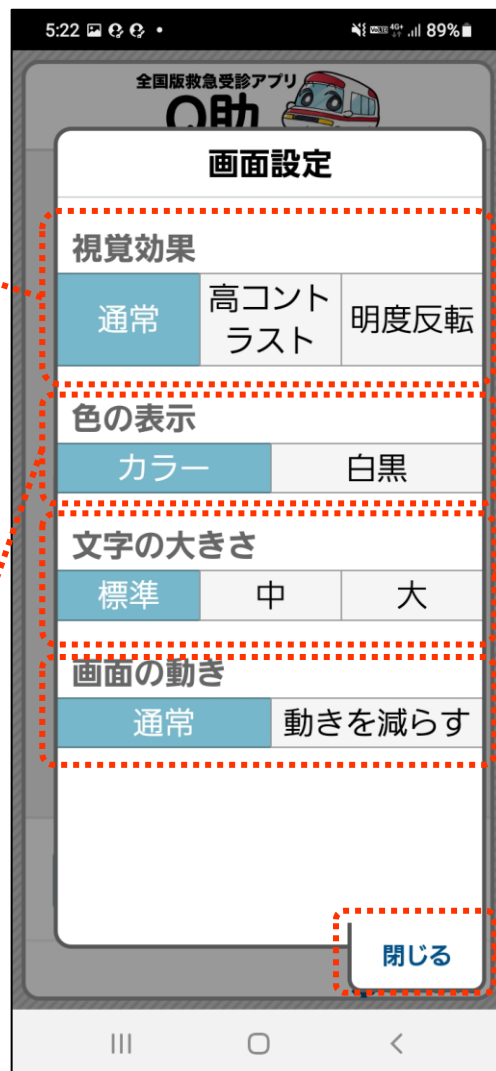
利用設定を行います

4

「通常/高コントラスト/明度反転」のいずれかをダブルタップします

5

「カラー/白黒」のいずれかをダブルタップします



6

「標準/中/大」のいずれかをダブルタップします

7

「通常/動きを減らす」のいずれかをダブルタップします

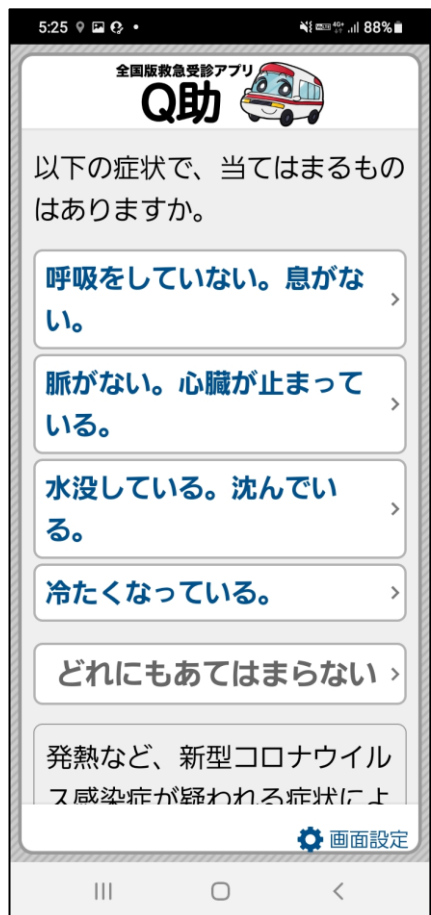
8

すべての設定が完了したら「閉じる」をダブルタップします

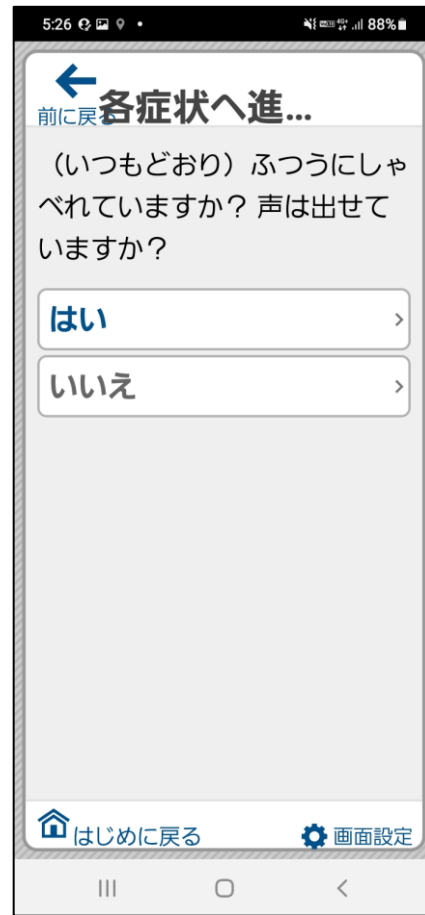
3 全国版救急受診アプリ (Q助)を利用しましょう

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



※5つの項目から
症状を選択



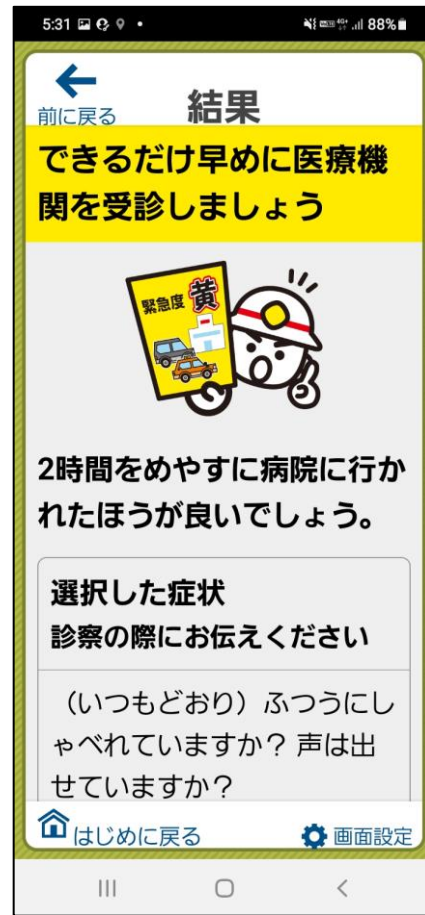
※症状確認画面
※以降p15,16
の4つの
パターンに分岐

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



※表示例1



※表示例2

緊急度判定について

こちらのアプリでは、該当する症状及び症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な4つの対応が表示されます



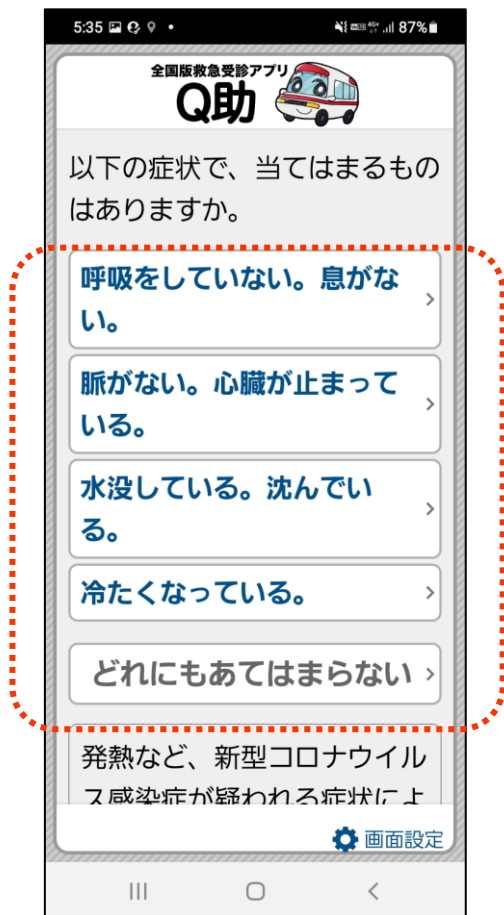
※表示例3



※表示例4

緊急度判定について

- ① 当てはまる項目を
ダブルタップします

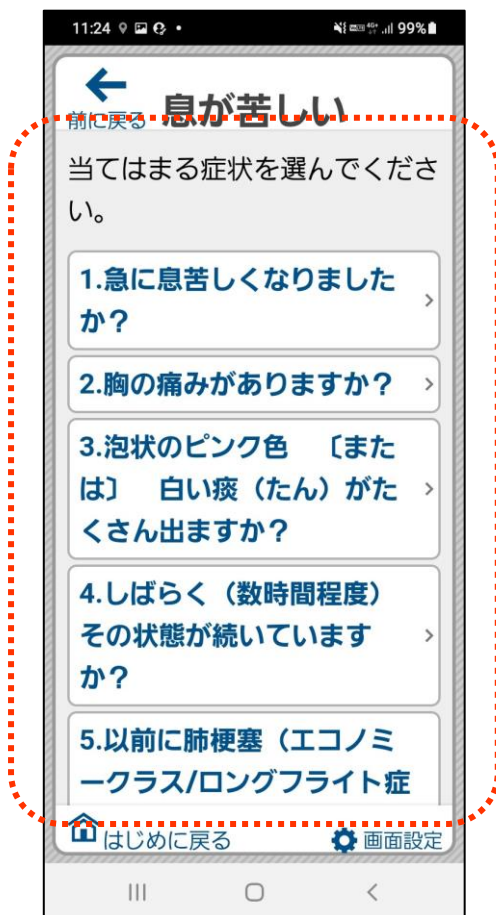


- ② 詳細の症状確認画面で
「はい/いいえ」を選択します



緊急度判定について

- ③ 症状を選択する画面が表示された場合、
当てはまる症状をダブルタップします



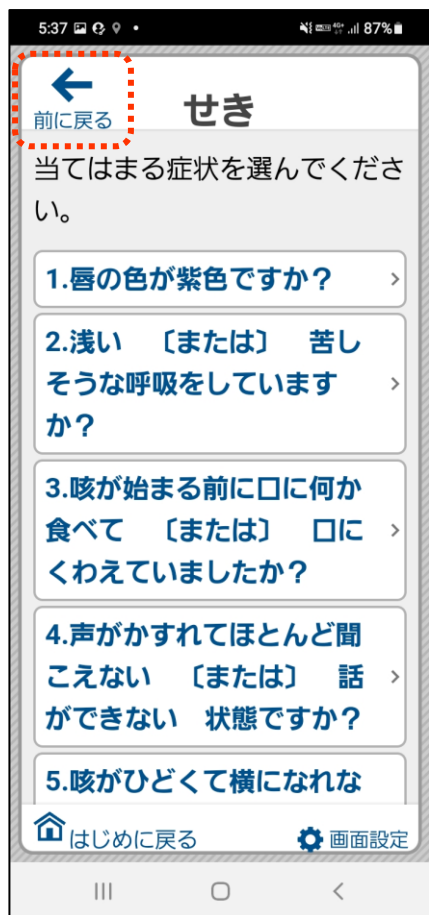
緊急度判定について

- ④ 年代を選択する場合、「大人(16歳以上)」か「こども」をダブルタップします

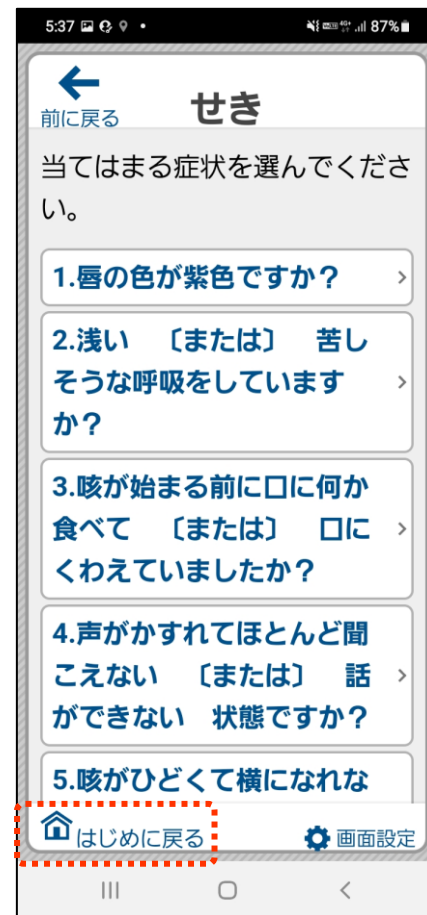


緊急度判定について

- ⑤ 一つ前の画面に戻りたい場合、
「前に戻る」をダブルタップします



- ⑥ はじめからやり直したい場合、
「はじめに戻る」をダブルタップします

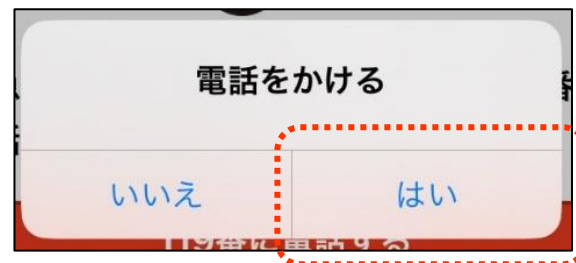


「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

- ① 「119番に電話する」を
ダブルタップします



- ② 「はい」を
ダブルタップします



※「はい」をダブルタップすると
実際に電話がつながってしまいま
すので、緊急時以外は絶対にダブ
ルタップしないようにしましょう

「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

※音声による通報が困難な場合は、NET119緊急通報システムを利用できます

※NET119緊急通報システムの利用にあたっては事前に申請手続きが必要になります

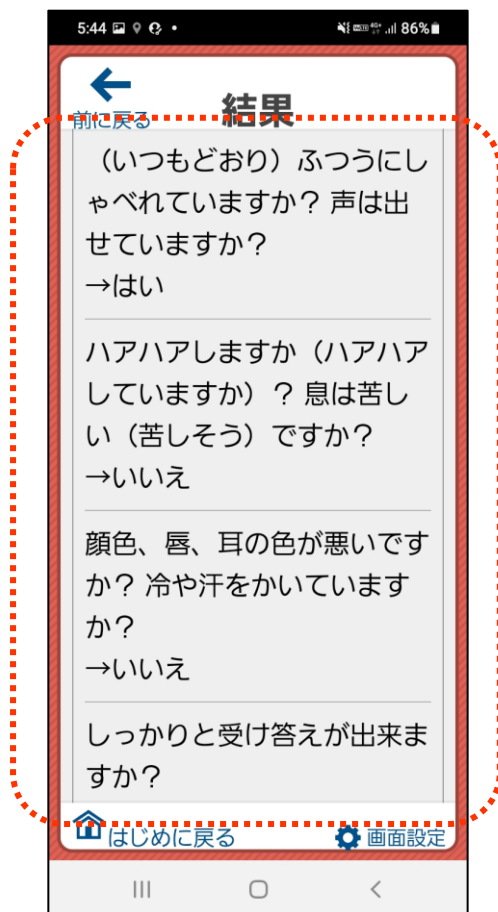
NET119緊急通報システムの概要、導入地域

https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/kyukyumusen_kinkyutuhou/NET119.html



「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合はすぐに119番に電話しましょう

- ③ オペレーターと会話する際は、必要に応じて「選択した症状」を確認します

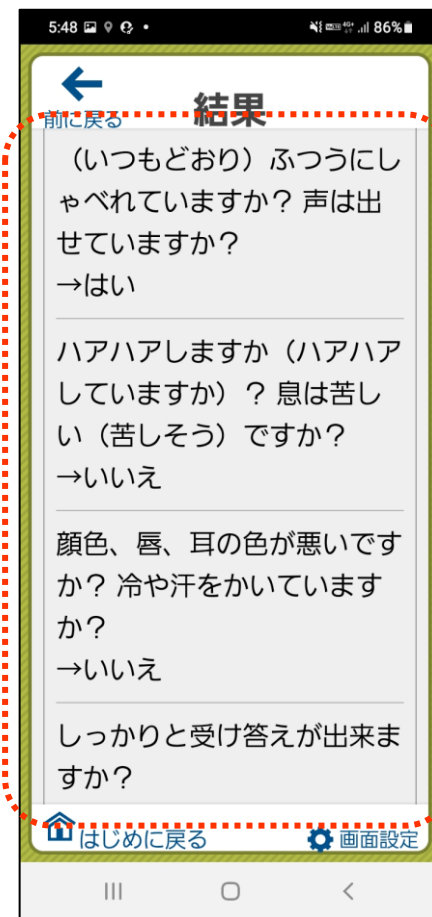


「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」が表示された場合は2時間をめやすに受診しましょう

- 1 画面を下から上にスクロールします

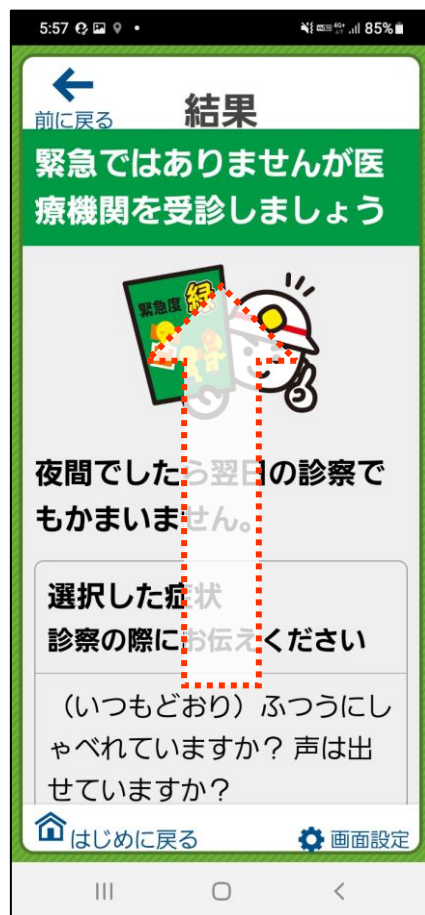


- 2 「選択した症状」や「受診科目の参考」も参考にしてください

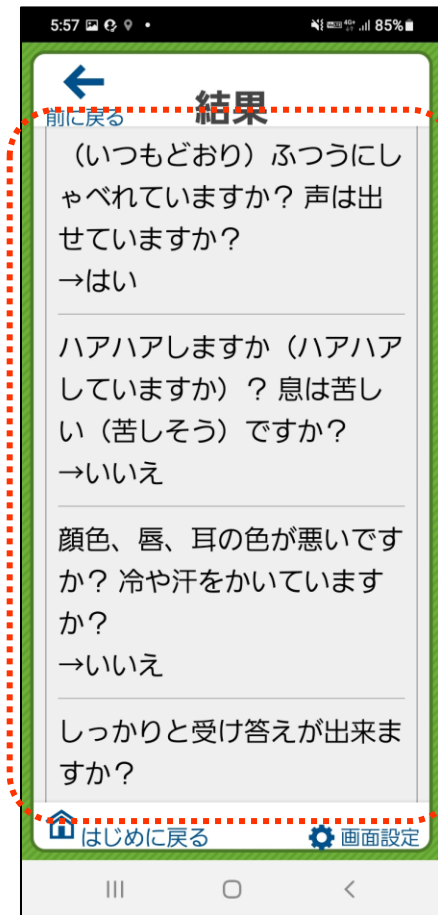


「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」が表示された場合は、夜間でしたら翌日の診察でもかまいません

- ① 画面を下から上にスクロールします



- ② 「選択した症状」や「受診科目の参考」も参考にしてください



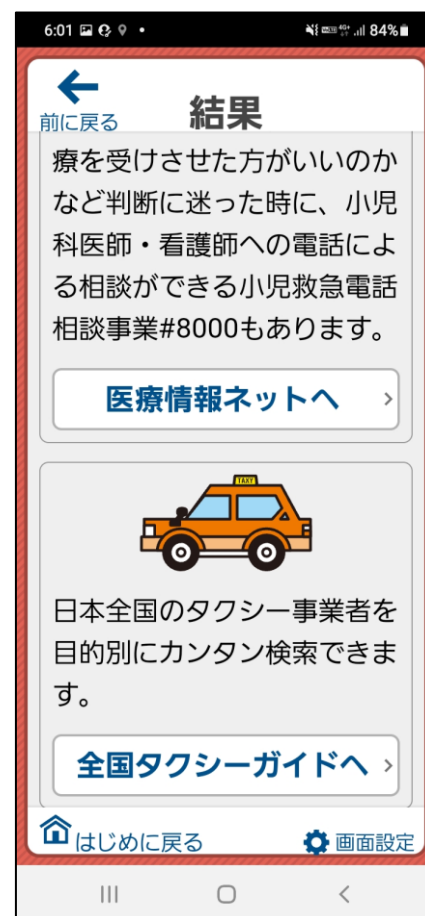
医療機関・受診手段の検索方法です

- ① 結果の画面を下から上にスクロールします



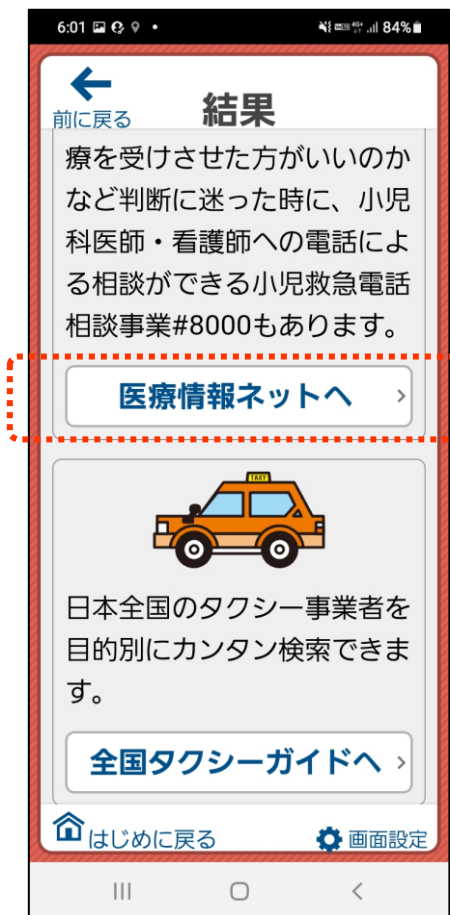
※p26①、p27①の結果の画面でも同様です

- ② 医療情報ネット/全国タクシーガイドに関するページが表示されます



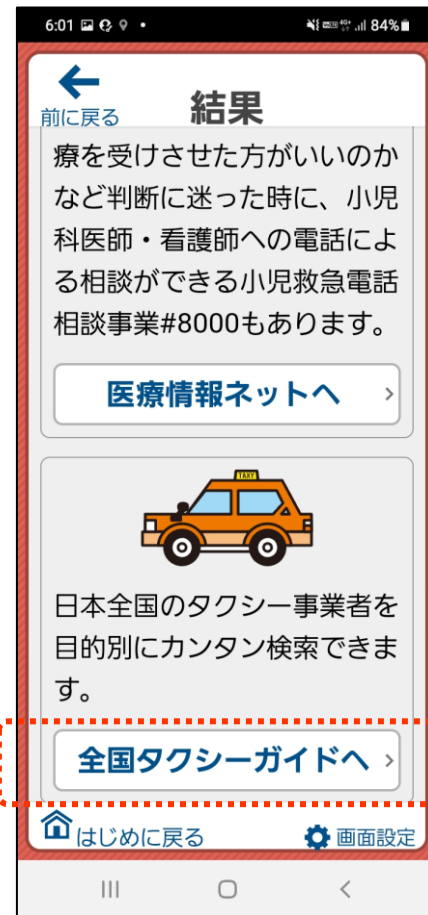
医療機関・受診手段の検索方法です

③ 診療科目・日・時間等を検索する場合、「医療情報ネットへ」をダブルタップします



※p30へ

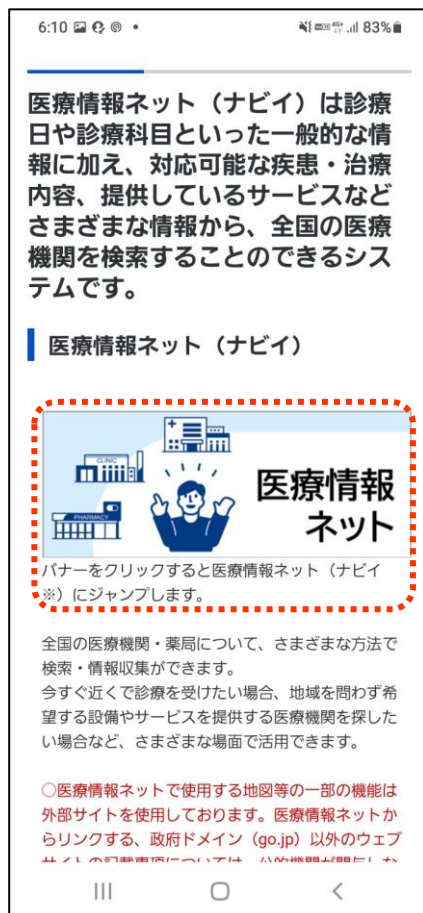
④ タクシーを利用する場合、「全国タクシーガイドへ」をダブルタップします



※p32へ

医療情報ネットから医療機関を検索します

① 「医療情報ネット」を
ダブルタップします



② 検索したい市区町村を入力します



医療情報ネットから医療機関を検索します

③ 「検索」をダブルタップします



※以降、ページの案内に沿って操作をします

<参考>

厚生労働省 医療情報ネット
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/teikyouseido/index.html



全国タクシーガイドから受診手段を検索します

- ① 画面を下から上にスクロールします
- ② 「救急・救援タクシー」をダブルタップします



全国タクシーガイドから受診手段を検索します

③ 検索したい都道府県を選択します

※電話の音声利用が難しい方は、
電話リレーサービスを利用する
ことも可能です

※電話を利用する場合、通話料
がかかります

※以降、ページの案内に
沿って操作をします



<参考> 全国タクシーガイド
<http://www.taxi-guide.jp/>

The screenshot shows the app's main menu with four options: ☒ 救急・救護タクシー (Emergency/Rescue Taxi), ☐ ハイヤー (Limousine), ☐ タクシー代行 (Taxi Agency), and ☐ その他のタクシー (Other Taxis). Below these is a section titled "タクシーを利用される都道府県をお選びください。" (Please select the prefecture where you will use the taxi). A dropdown menu is open, showing "都道府県を選択して下さい" (Please select a prefecture). The bottom of the screen displays contact information for the Japan Federation of Hire-Taxi Associations and a disclaimer about the system's funding.

救急安心センター(#7119)とは？

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、
今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあると思います。
そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が
救急安心センター事業(#7119)です。

救急安心センター事業(#7119)に寄せられた相談は、電話口で医師、看護師、
相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、
急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

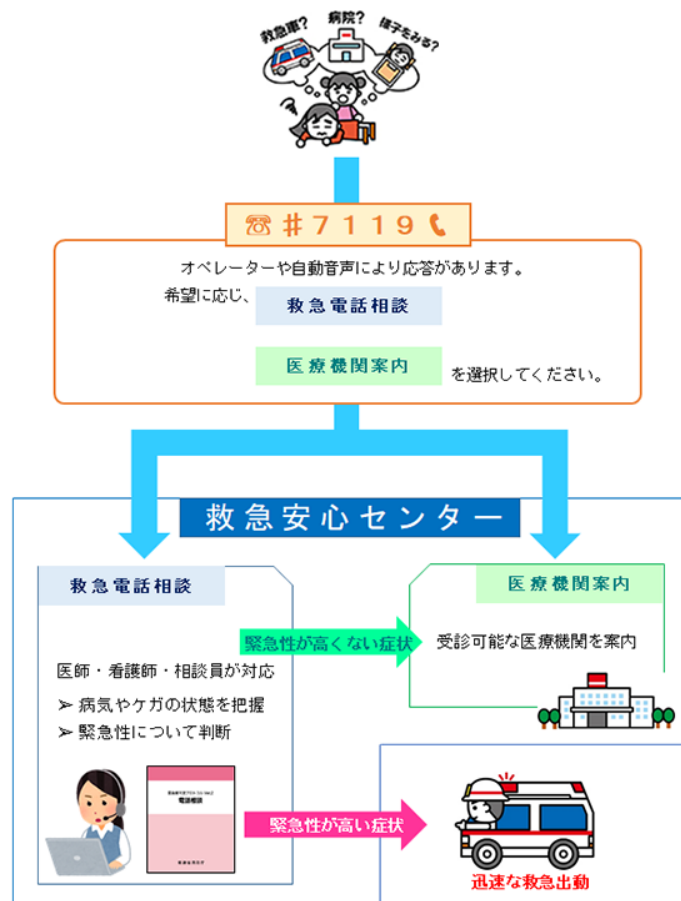
こんなときに#7119

「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」、悩んだりためらわれた時は、
救急安心センター事業(#7119)に電話してください

- ▶ こんな症状で救急車を呼んでいいのかな...
- ▶ 具合が悪いけどすぐに病院に行った方がいいかな...
- ▶ 手遅れになったらどうしよう...
- ▶ 近所の目が気になるから、救急車を呼ぶのは控えよう...

救急安心センター(＃7119)の利用方法

救急安心センター事業(＃7119)の利用方法



「＃7119」(又は地域ごとに定められた電話番号)に電話することで、救急電話相談を受けることができます。

＃7119に寄せられた相談は、**医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等**が電話口で傷病者の状況を聞き取り、「**緊急性のある症状なのか**」や「**すぐに病院を受診する必要性があるか**」等を判断します。相談内容に応じて、迅速な緊急出動につないだり、受診可能な医療機関の案内を受けたりすることができます。

※現在治療中の病気の治療方針、医薬品の使用方法、介護、健康、育児、精神科等に関する相談は受けられません

※相談料は無料です 通話料は各実施地域により異なります

救急安心センター（＃7119）の実施エリアについて

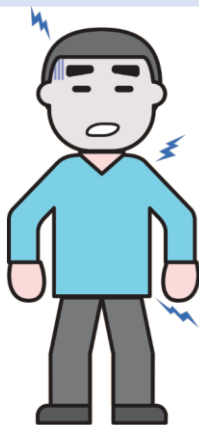
＃7119を行っている地域は以下URLを参照ください。

お住まいの地域をご確認の上、ご相談ください。

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

おとなの場合



気をつける症状

顔

- 顔半分が動きにくい、またはしびれる
- にっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔組織が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで建てないぐらい急にふらつく

おなか

- 突然の激しい頭痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしてる)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

子ども(15歳以下)の場合



気をつける症状

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している

意識の障害

- 意識がない(返事がない)
またはおかしい(もうろうとしてる)

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

生まれて三か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

- 痛みひどいやけど
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

以下のような症状がある場合にはすぐに119番に電話しましょう

高齢者の場合



気をつける症状

顔

- 顔半分が動きにくい、またはしびれる
- 笑うと口の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立っていられない

おなか

- 突然の激しい頭痛
- 血を吐く

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)
又はおかしい(もうろうとする)

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん

- けいれんが止まらない

飲み込み

- 物をのどに詰まらせた

けが・やけど

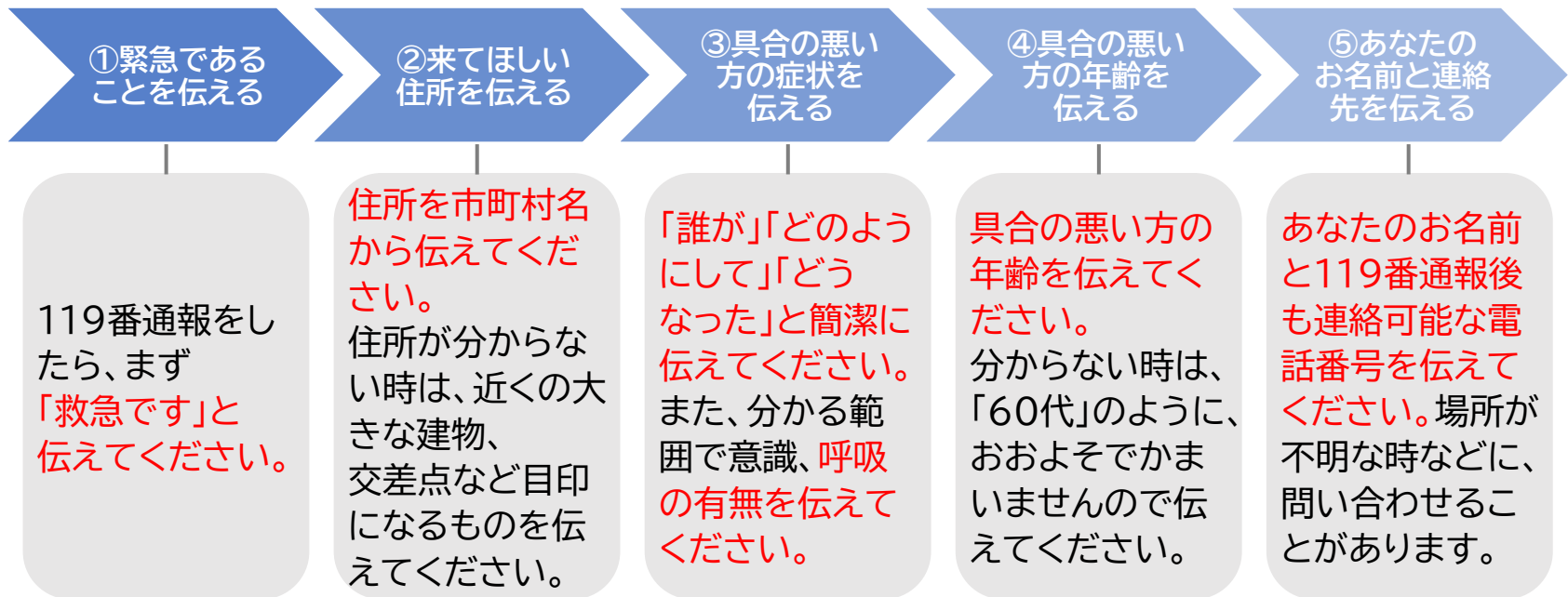
- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを順番にお伺いします。緊急性が高い場合はすべてお伺いする前でも救急車が出動します。あわてず、ゆっくりと答えてください。



※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります

※答えられる範囲で伝えてください

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です